SONY

3-250-691-**01**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-B8

http://www.sony.co.jp/

ICレコーダー
ICD-B8
T02-1001A-1

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

注意を促す記号

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

行為を禁止する記号

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部に水や異物を落とさない

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 乾電池が液漏れしたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

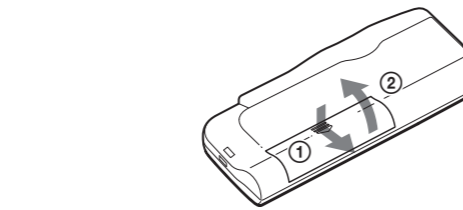
バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダーなどに録音してください。詳しくは、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しの聞かない録音の場合は、必ず事前にため し録りをしてください。
- あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

▶準備

準備1：乾電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」の手順2～3をご覧になり、時計を合わせてください。

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

▭ が点滅したら、電池を交換してください。

▭ が点滅すると電源が切れ、操作ができなくなります。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池の持続時間（ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)を連続使用時）

録音時	再生時
約10時間	約8時間

* 音量つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合

* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意

本機にはマンガン電池はお使いになれません。

準備2：時計を合わせる

タイマー録音やアラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 時計設定画面を表示する。

① メニューボタンを押す。
メニューモードに入ります。

*「ALARM」が表示される場合もあります。

② –◀◀または▶▶I+ボタンを押して「SET DATE」を表示させる。

③ ▶■再生／停止ボタンを押す。
「年」の数字が点滅します。

2 年月日を合わせる。

① –◀◀または▶▶I+ボタンを押して「年」の数字を選ぶ。

☞ 2003年に設定するには、「03Y」を選びます。

② ▶■再生／停止ボタンを押す。
「月」の数字が点滅します。

③ 同様にして、「月」、「日」を合わせ、▶■再生／停止ボタンを押す。
「時」の数字が点滅します。

3 時分を合わせる。

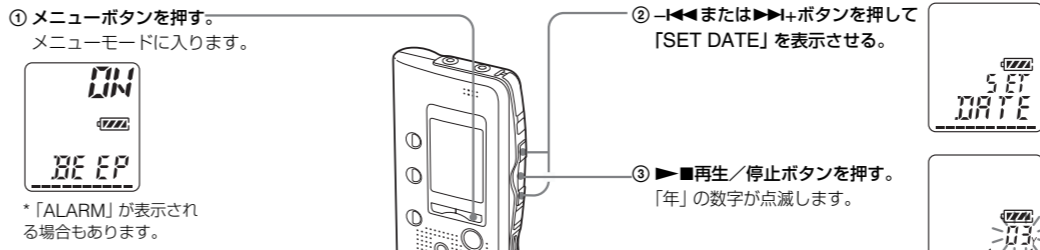
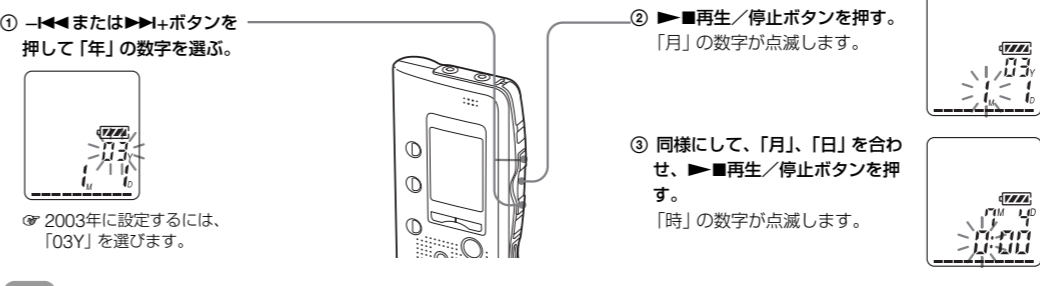
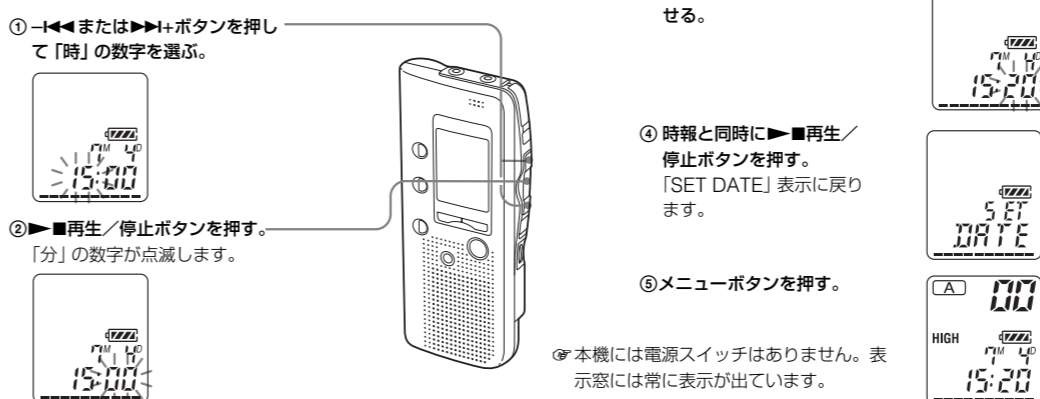
① –◀◀または▶▶I+ボタンを押して「時」の数字を選ぶ。

② ▶■再生／停止ボタンを押す。
「分」の数字が点滅します。

③ 同様にして、「分」を合わせる。

④ 時報と同時に▶■再生／停止ボタンを押す。
「SET DATE」表示に戻ります。

⑤ メニューボタンを押す。

☞ 本機には電源スイッチはありません。表示窓には常に表示が出ています。

▶基本的な使いかた

用件を録音する

AまたはBのフォルダそれぞれに99件までの用件を録音できます。
●録音／停止ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

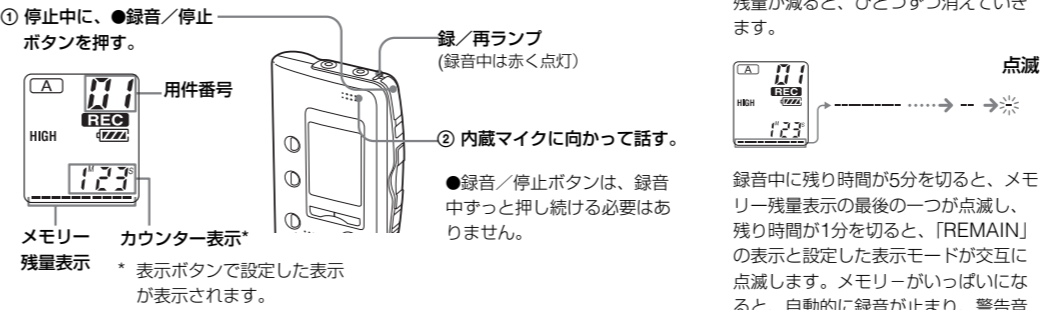
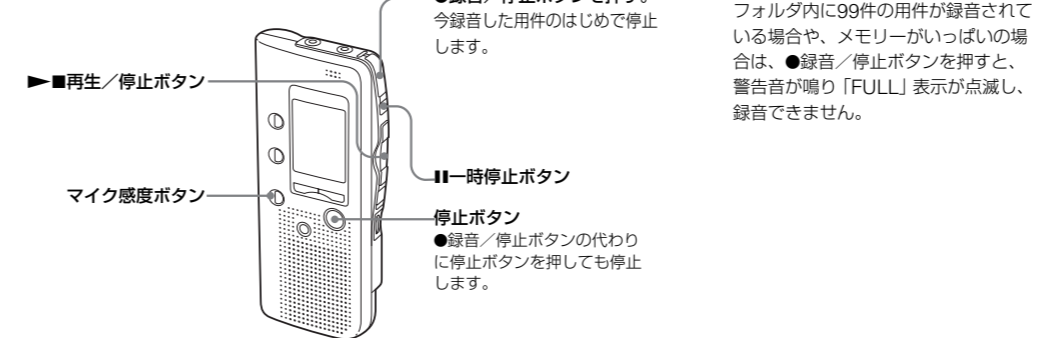
例：

用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

1 録音したいフォルダを選ぶ

2 録音を始める

●録音／停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

* 表示ボタンで設定した表示が表示されます。

3 録音を止める

次に録音するとき、フォルダが同じ場合は、手順1は省略できます。

録音するときのご注意

- 録／再ランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は電池をはずさないでください。データが破損するおそれがあります。
- マイクジャックにオーディオコードをつないでいるときは、内蔵マイクでの録音はできません。つないだ機器またはコードをはずしてください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

録音可能時間について

最大録音時間は、全フォルダ合わせて150分です。録音可能な残り時間は、表示モードを切り換えて「残り時間表示モード」で確認できます。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

録音中に残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示の最後の一つが点滅し、残り時間が1分を切ると、「REMAIN」の表示と設定した表示モードが交互に点滅します。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、警告音が鳴り、「FULL」が点滅します。不要な用件を消去してください。

ご注意

フォルダ内に99件の用件が録音されている場合や、メモリーがいっぱいの場合は、●録音／停止ボタンを押すと、警告音が鳴り「FULL」表示が点滅し、録音できません。

その他の操作

録音を一時停止する*	II一時停止ボタンを押す。録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「PAUSE」（録音一時停止）表示が点滅します。
一時停止を解除する	もう一度II一時停止ボタンを押す、または●録音／停止ボタンを押す。先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、停止ボタンを押します。）
今録音したばかりの用件を聞く	▶■再生／停止ボタンを押す。録音が解除され今録音した用件のはじめから聞くことができます。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

内蔵マイクの感度を切り換える

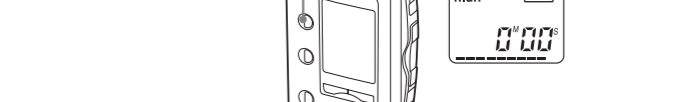
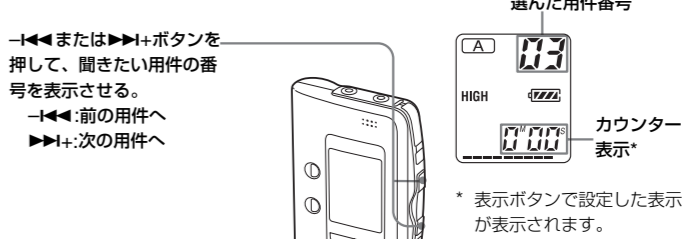
マイク感度ボタンを押し、用途に合わせて、内蔵マイクの感度を切り換えることができます。

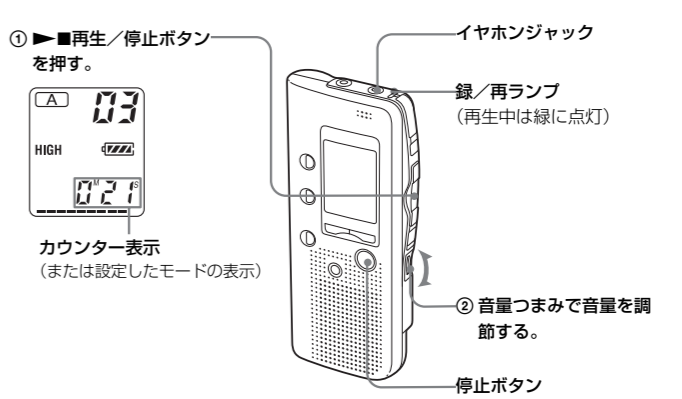
「HIGH」（会議録音モード）：
小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。

「LOW」（口述録音モード）：
口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。今録音したばかりの用件を聞くときは、手順3から行ってください。

1 フォルダを選ぶ

2 用件番号を選ぶ

* 表示ボタンで設定した表示が表示されます。

3 再生を始める

ひとつの用件の再生が終わると、次の用件のはじめで停止します。
フォルダ内の最後の用件の再生が終わると、その用件のはじめに戻って停止します。

その他の操作

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	停止ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する*	▶■再生／停止ボタンを押す。もう一度▶■再生／停止ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いている用件の頭に戻る	–◀◀ボタンを短く1回押す。
前の用件、さらに前の用件に戻る	–◀◀ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	▶▶I+ボタンを短く1回押す。
さらに次の用件に進む	▶▶I+ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

* II一時停止ボタンを押しても、再生を一時停止できます。このときは、録／再ランプが緑に点滅します。また、約1時間たつとその位置で停止状態になります。

イヤーレシーバーで聞くには

付属または別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックに差し込んでください。スピーカーからは音が出なくなります。両耳タイプのイヤーレシーバーを差すと、左（L）側からのみ音が聞こえます。雑音が入るときは、イヤーレシーバーのプラグをきれいに拭いてください。

フォルダ内の用件を続けて聞くには—コンティニュー再生

メニューのコンティニュー再生（CONT)を「ON」に設定すると、フォルダ内の用件を連続して再生できます。（「フォルダ内の用件を続けて再生する–コンティニュー再生」参照。）

同じ用件を繰り返し聞くには — 1件リピート再生

再生中に▶■再生／停止ボタンを1秒以上押します。
「⊂」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。

- **普通の再生に戻すには**：▶■再生／停止ボタンを押します。
- **リピート再生を止めるには**：停止ボタンを押します。

用件の頭だけをひと通り聞くには — スキャン再生

停止中に▶■再生／停止ボタンを1秒以上押します。「SCAN」が表示され、選んだファイル内の最初の用件から最後の用件まではじめの5秒ずつ再生します。聞きたい用件がみつかったら、▶■再生／停止ボタンを押すと、その用件を続けて聞くことができます。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- **早送り（キュー）**：再生中に▶▶I+ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- **早戻し（レビュー）**：再生中に–◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。早送り／早戻し中は、表示モードの設定に関係なく、カウンター表示になります。
一時停止中でも同様の操作ができます。聞きたいところで離すと、そこで一時停止状態となります。

☞ **最後の用件の終わりまで早送りすると**

- 最後の用件の終わりまで送られると、「END」表示が5秒間点滅します。この間は録／再ランプは緑に点灯しています。（再生音は聞こえません。）
- 「END」の点滅と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
- 「END」の点滅中に–◀◀ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶I+ボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「END」表示の点滅中に–◀◀ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

各部のなまえ

▶いろいろな録音のしかた

録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。新しく追加した内容は、再生中の用件の最後に再生中の用件の一部として追加されます。

1 再生中に●録音／停止ボタンを1秒以上押す。
「REC」が表示され、「PLUS」が3回点滅します。録／再ランプは赤に変わります。再生中の用件に追加録音されます。

2 ●録音／停止ボタンまたは停止ボタンを押して録音を止める。

ご注意
メモリー残量が不足している場合は追加録音ができません。詳しくは「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

外部マイクや他の機器を使って録音する

外部マイクや他の機器（テープレコーダーや電話など）の音声を本機で録音することができます。

外部マイクで録音する

本機のマイクジャックに付属のミニプラグ付きマイクロホンをつなぎます。外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

別売りのマイクもご使用いただけます。

☞ 外部マイクと内蔵マイクの使いかた
内蔵マイクは標準感度、全指向性マイクロホンです。口述録音や会議の録音では内蔵マイクのご使用をおすすめします。口述録音時はマイク感度を「LOW」に、会議録音時は「HIGH」に設定してください。

他の機器の音声を録音する

他の機器の音声を録音するには、本機のマイクジャックと他の機器（テープレコーダーやテレビ、ラジオなど）のイヤホンジャックを、付属のオーディオコード（抵抗入り）を使ってつなぎます。

ご注意
ICレコーダーへの入力に抵抗なしオーディオコードを使用すると音声が途切れて録音されることがあります。必ず抵抗入りオーディオコードをお使いください。

電話の音声を録音する

電話の種類に合わせて、別売り機器を使って本機で電話の音声が録音できます。詳しくは、お使いになるアダプターなどの取扱説明書をご覧ください。なお、テレホンレコーディングアダプターは、一部特殊な電話機にはご使用になれません。携帯電話に近づけるとノイズが入るため、録音できません。
その他の接続方法については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

▶用件の編集

録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、またはひとつのフォルダ内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

消去前
用件1 | 用件2 | 用件3 | 用件4
用件3を消去する
用件1 | 用件2 | 用件3 | 用件4
消去後　用件の番号が繰り上がる

1 消去ボタンを押す。または、停止中に消去ボタンを1秒以上押す。
確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件のはじめと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

2 「ERASE」の点滅中に消去ボタンをもう1度押す。
用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。

(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。)

途中で消去をやめるには
手順2の前に停止ボタンを押します。

他の用件を消去するには
手順1と2を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには
用件分割をして、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んで手順1と2の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

ひとつのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。

フォルダA：用件1 | 用件2 | 用件3 | 空きスペース　フォルダB：用件1 | 用件2
↓
フォルダA：空きスペース　フォルダB：用件1 | 用件2

1 フォルダボタンを押して、フォルダを選ぶ。

2 停止ボタンを押しながら、消去ボタンを1秒以上押す。
「ALL ERASE」が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去ボタンを押す。

途中で消去をやめるには
手順3の前に停止ボタンを押します。

用件をふたつに分ける／つなげる－用件分割／用件結合

ひとつの用件を途中で分割してふたつに分けたり（用件分割）、ふたつの用件を結合してひとつにつなげる（用件結合）ことができます。
録音中／再生中 － 用件分割ができます。
停止中 － 用件結合ができます。

用件分割･用件結合についてのご注意
頻繁に用件分割または用件結合をすると、用件分割ができなくなることがあります。

用件をふたつに分ける（用件分割）

録音または再生中、用件分割をするとひとつの用件がふたつに分かれ、その場所に新しい用件番号が付きます。会議など1件の用件が長時間になったとき、用件分割をすると、再生したい場所がすばやく探せて便利です。分割した用件が入っているフォルダの用件数が99件になるまで用件分割できます。

ご注意
- 用件分割をするには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- アラーム設定した用件を分割すると、分割した後ろの用件にはアラーム設定は残りません。
- 用件のはじめから1秒までの間では用件分割はできません。

録音または再生中に、用件を分割をしたいところで分割ボタンを押す。

- **録音中に押したときは:** 押したところから新しい用件番号がつき、その番号が3回点滅します。ふたつの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

用件1 | 用件2 | 用件3
用件分割
続けて録音される

☞ 録音一時停止中でも用件分割できます。

- **再生中に押したときは:** 押したところで用件が分割され、新しい用件番号が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ送られます。

用件1 | 用件2 | 用件3
用件分割
用件1 | 用件2 | 用件3 | 用件4
用件番号がひとつずつ増える

☞ II一時停止ボタンで再生一時停止中でも用件分割できます。

用件分割した部分を探して聞くには
分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に–I◀◀または▶▶I+ボタンを押して再生する部分を探してください。

☞ **分割した用件を続けて聞くには**
メニューのコンティニュー再生 (CONT)で「ON」を選ぶと便利です。

用件をつなげる（用件結合）

用件結合をすることでふたつの用件をひとつの用件にまとめることができます。

用件1 | 用件2 | 用件3 | 用件4 | 用件5
用件結合
用件1 | 用件2 | 用件3 | 用件4
用件番号がひとつずつ減る

1 停止ボタンを押して停止状態にする。

2 –I◀◀または▶▶I+ボタンで、つなげたいふたつの用件のうち、後ろのほうの用件番号を選ぶ。

3 分割ボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押す。
「ID ERASE」が10秒間点滅します。

4 点滅している間に消去ボタンを押す。
ふたつの用件がひとつの用件にまとまり、用件番号が上図のようにつけ直されます。

用件結合を途中でやめるには
手順3の前で停止ボタンを押します。

ご注意
用件をつなげると、後ろの用件のアラーム設定は削除されます。

用件を別のフォルダに移動する－ムーブ

録音済みの用件を、他のフォルダに移動させることができます。

例：フォルダAの用件3をフォルダBに移動する場合

1 移動させたい用件を再生する。

2 用件の再生中にフォルダボタンを押して、移動先のフォルダを点滅させる。
移動先のフォルダ（この場合は「B」）と「MOVE」表示が点滅し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

3 ▶■再生／停止ボタンを押す。
用件が移動先のフォルダに移動します。そのフォルダの録音日時順にしたがった場所に挿入されます。

途中でフォルダの移動をやめるには
手順3の前に停止ボタンを押します。

ご注意
ムーブ機能を使って用件を移動すると、もとのフォルダからは用件がなくなり、移動先のフォルダのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

▶その他の機能

希望の時刻に再生を始める－アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。

1 再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定を「ON」にする。
①メニューボタンを押す。
「ALARM OFF」が表示されます。（すでにその用件がアラーム設定されていると「ON」が表示されます。）

ご注意
時刻設定をしていない場合や、用件が録音されていない場合はアラーム設定はできません。

② ▶■再生／停止ボタンを押す。
「OFF」（または「ON」)が点滅します。

③ –I◀◀または▶▶I+ボタンで「ON」を選ぶ。

④ ▶■再生／停止ボタンを押す。
「DATE」が点滅します。

3 アラーム再生する日を設定する。

●日付（DATE）を指定する場合
①「DATE」点滅中に▶■再生／停止ボタンを押す。
「月」表示が点滅します。
②–I◀◀または▶▶I+ボタンで「月」の数字を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。
「日」表示が点滅します。
③–I◀◀または▶▶I+ボタンで「日」の数字を選ぶ。

●週に1回再生したい場合
–I◀◀または▶▶I+ボタンで希望の曜日（「SUN」～「SAT」）を表示させる。

●毎日決まった時刻に再生したい場合
–I◀◀または▶▶I+ボタンで「DAILY」を表示させる。

4 ▶■再生／停止ボタンを押す。
「時」表示が点滅します。

5 アラーム再生する時刻を設定する。
① –I◀◀または▶▶I+ボタンで「時」の数字を選び、▶■を押す。
「分」表示が点滅します。
② –I◀◀または▶▶I+ボタンで「分」の数字を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。
「ALARM ON」と「(•)」が表示されます。

6 メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。アラーム設定された用件には「(•)」が表示されます。

設定した時刻になると、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります。
アラーム再生中は、「ALARM」が点滅します。
再生が終わると、自動的に停止します（アラーム再生した用件の頭に戻ります）。

アラーム再生された用件をもう一度聞くには
▶■再生／停止ボタンを押すと、その用件のはじめから再生されます。

用件が再生される前に止めるには
アラーム音が鳴っている間に停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

アラーム設定を解除するには
手順2で「OFF」を選んで▶■再生／停止ボタンを押します。

アラーム設定内容を変更するには
手順1～2を行い、現在設定されているアラーム再生日が表示されたら手順3～6で新しい内容で設定します。

ご注意
- すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとすると、「PRE SET」が表示され、アラーム設定はできません。
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、録音終了後にアラーム音が鳴ります。「(•)」のみが点滅します。
- 録音中にふたつ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
- アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
- アラーム再生を設定した用件を分割した場合、分けた点より前の部分のみアラーム再生されます。
- アラーム再生を設定した用件を前の用件と結合した場合、アラーム設定は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

表示を切り換える

表示ボタンを押すと下記のように表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた表示モードになります。

☞ **現在時刻表示について**
停止中に3秒以上何も操作しないと、表示モードに関係なく、現在時刻表示になります。

カウンター表示モード
ひとつの用件の中の経過時間を表示します。

↓

残り時間表示モード
停止中、録音中は録音可能な残り時間を表示します。再生中は、その用件の残り時間を表示します。

↓

録音日時表示モード
用件を録音した日付けと時刻を表示します。（時計を合わせていない場合は「-M--D ---:--」と表示されます。）

↓

カウンター表示モードに戻る

ビープ音を設定する

操作時の受け付け確認やエラーのビープ音（ピッという音）を鳴らさないように設定できます。

ON：　操作時の受け付け確認音およびエラー音が鳴ります。（初期設定）
OFF：　操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません（アラームは鳴ります）。

1 メニューボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 –I◀◀または▶▶I+ボタンで「BEEP ON」（または「BEEP OFF」）を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。
「ON」（または「OFF」)が点滅します。

3 –I◀◀または▶▶I+ボタンで「OFF」または「ON」を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。

4 メニューボタンを押す。
設定が有効になり、通常の画面に戻ります。

ビープ音の意味

ビープ音	意味
ピ	操作時の受け付け確認音
ピピ	特定のモードに入ったとき、解除されたときの確認音
ピピピ	エラー音（例: メモリー残量が不足している、すでに最大用件数または最大録音時間まで録音しているため録音できない、フォルダの最後または最初の用件のため早送り、早戻しができない。）
ピピピピ	エラー音（電池の残量不足。）
ピピピピ--------	アラーム音（「BEEP OFF」に設定している場合でもアラーム音は鳴ります。）

フォルダ内の用件を続けて再生する－コンティニュー再生

フォルダ内の用件を連続して再生できます。分割した用件などを続けて聞きたい場合などに便利です。

ON：　フォルダ内の用件を続けて再生します。
OFF：　用件が終わるごとに止まります。（初期設定）

1 メニューボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 –I◀◀または▶▶I+ボタンで「CONT OFF」（または「CONT ON」）を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。
「OFF」（または「ON」)が点滅します。

3 –I◀◀または▶▶I+ボタンで「ON」または「OFF」を選び、▶■再生／停止ボタンを押す。

4 メニューボタンを押す。
設定が有効になり、通常の画面に戻ります。

誤操作を防止する— ホールド機能

ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。「HOLD」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。
操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

ご注意
録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

☞ **ホールド中でもアラーム再生は止められます。**
アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには停止ボタンは使えます。（通常の用件再生は停止できません。）

▶その他

使用上のご注意

ノイズについて
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について
- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60°C以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、パーソナルオーディオ･カスタマーサポートページをご覧いただくか、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。なお、修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

操作ボタンを押しても動作しない。
- 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。
- 乾電池が消耗している。
- ホールドスイッチが入っている。(ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。)

スピーカーから音が出ない。
- イヤーレシーバーが差し込まれている。
- 音量が絞られている。

「FULL」が点滅し、録音できない。
- メモリーがいっぱいになっている。
  →不要な用件を消去する。
- 選んだフォルダに99件録音されている。
  →別のフォルダを選ぶか、不要な用件を消去する。

追加録音できない。
- メモリー残量が不足している場合は追加録音できません。追加される部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間分のみです。

雑音が入る。
- 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。→プラグをきれいにクリーニングする。
- イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。
  →プラグをきれいにクリーニングする。

録音レベルが小さい。
- マイク感度が「LOW」(口述)になっている。
  →マイク感度ボタンで「HIGH」(会議)に切り換える。

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）
- 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。

時計表示が「-M --D ---:--」になる。
- 時計を合わせていない。

REC DATE表示が「-M --D ---:--」になる。
- 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。

「PRE SET」が表示され、アラーム再生が設定できない。
- すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとすると、設定はできません。

電池の持続時間が短い。
- 乾電池の持続時間は、音量つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）。使用条件によっては短くなる場合があります。

最大録音時間まで録音できない。
- ひとつのフォルダ内で、99件を超えると、それ以上用件は録音できません。
- 最小録音単位（約9秒間）があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります。
- 最小録音単位より長い用件の場合でも、端数が出た場合は、同様に実際の録音時間よりも多く残り時間が減ることがあります。
- 以上の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

正常に動作しない。
- 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。

主な仕様

録音方式	内蔵フラッシュメモリー使用、モノラル録音
最大録音時間	150分
スピーカー	直径 32mm
入・出力端子	イヤホン（ミニジャック／モノラル）出力：負荷インピーダンス 8～300Ω マイク（ミニジャック／モノラル）入力：プラグインパワー対応、最小入力レベル 0.6mV
実用最大出力	150mW
電源	DC 3V 単4形アルカリ乾電池2本使用
最大外形寸法	約44.5×105.3×14.0mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず
質量	68g（アルカリ乾電池LR03 2本含む）
付属品	イヤーレシーバー（1）／マイクロホン（1）／オーディオコード（1）／キャリングポーチ（1）／ソニーアルカリ乾電池LR03（2）／取扱説明書（1）／ICD知っ得Q&A（1）／ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売アクセサリー	モノラルイヤーレシーバー MDR-EX17MM／エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-Z60（ズームマイク）、ECM-T15、ECM-T115（タイピン型）、ECM-DM5P（ダイレクトインマイク）／テレホンレコーディングアダプター TL-R10*、TL-RH30（*TL-R10はホームテレホン、ビジネスホンにはご使用になれません。）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お客様ご相談センター、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→パーソナルオーディオ･カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話･FAXでのお問い合わせは→お客様ご相談センターへ（下記電話･FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    – お使いのICレコーダーの型名
    – ご相談内容：できるだけ詳しく
    – お買い上げ年月日

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35